

7月31日の終業式に、私は、放送で「新型コロナウイルスに一番効果がある予防薬は、自分勝手な心に負けず、他の人への影響を考え、自分がどう行動すべきか考えられる心」だと言いました。そして、夏休み中、周囲への気遣いと、自分の大切なものは自分で守ることをお願いしました。

今日、こうして無事2学期が迎えられたことは、生徒の皆さん、先生方、保護者の方、地域の方など、それぞれの努力・ご協力があったからだと、心から感謝しています。

私たちは、このコロナ禍によって、当たり前なこと、平凡な日々が、実はとても貴重であることを学びました。例えば、今年の夏休みは、いつもより4週間近く短かったのですが、それゆえ、休日のありがたさを、いつも以上に実感したと思います。

健康でいられること、学校に来られること、勉強したり、運動したり、友達と会ったり、先生と話したりする日常が、何の努力もなしに与えられるものではなくて、それを支えてくださる人が必ずいて、その努力によって、私たちの平凡な日常、当たり前の時間が過ぎていくことを、この半年で学んできました。

であるなら、私たちも、今私たちができること、やるべきことを一生懸命頑張ることが、社会の一員としての責任だと、私自身、半年前より、ずっと強く思うようになりました。

皆さんにとって、自分が今できることは、何ですか。

きっと、本日、2学期の目標を考える時間があることでしょう。いつもの新学期とは少し違った視点で、目標を考えてみてください。